

多指症

手の先天異常の中では頻度が高く、母指の重複（母指多指症）が多いです。

母指多指症は分岐される部位により分類され、Wassel 分類が用いられることが多く、爪が一つの指に二つある末節型から、母指の根元から二つに分かれる基節型など様々なタイプがあります。

手術は1歳前後に通常行います。整容だけでなく、機能も温存するための手術を行います。余剰指の切除だけでなく、タイプに応じて筋腱の移行、靭帯の縫着・縫縮、軟骨のトリミング、金属ピンを用いた指の矯正など併用しております。

術後はしばらくのギプスシーネ固定を行います。期間は手術内容によって異なりますが、約3週間前後となることが多いです。

術後、成長とともに変形が出現することもあるので定期的な外来通院がしばらく必要です。

